



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社イエローハット 上場取引所 東
 コード番号 9882 URL <http://www.yellowhat.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 康生
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 孝二 (TEL) 03-5695-1602
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	26,430	△6.8	1,123	40.3	1,435	19.0	1,028	△66.4
25年3月期第1四半期	28,346	20.0	800	△38.8	1,206	△34.2	3,057	144.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,061百万円(△64.5%) 25年3月期第1四半期 2,991百万円(137.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	45.38	45.35
25年3月期第1四半期	127.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	73,494	47,599	64.7	2,098.99
25年3月期	82,122	46,950	57.2	2,068.77

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 47,576百万円 25年3月期 46,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,500	3.5	2,700	4.1	3,200	0.2	2,000	△40.0	88.13
通期	122,500	4.3	7,500	6.0	8,300	1.9	5,100	△15.8	224.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	24,961,573株	25年3月期	24,961,573株
26年3月期1Q	2,295,013株	25年3月期	2,266,607株
26年3月期1Q	22,666,708株	25年3月期1Q	24,030,040株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、金融緩和策や経済対策への期待感から円安・株高基調が維持され、緩やかな景気回復の兆しがみられるものの、中国等の海外経済の減速、来年度からの消費税増税などの懸念材料が残っており、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当カー用品業界におきましては、ナビゲーション販売単価の大幅な下落、前年同期のタイヤ販売が好調に推移したことの反動及びタイヤ履き替え需要の3月への前倒しの影響、前年度の新車販売増加に伴う関連商品需要増の反動等があり、厳しい経営環境となりました。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力事業であるカー用品等販売事業の一層の拡大を図るべく、テレビCM等広告宣伝の強化に努めるとともに、タイヤを中心とした消耗品の拡販や、車検・钣金・ポリマーコーティングなどのカーメンテナンスメニューの拡充推進を強化してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、各種営業施策を実施し既存店の収益力強化に努めましたが、売上高は前年同期比19億16百万円（6.8%）減少の264億30百万円となりました。売上総利益は前年同期比2億45百万円（3.2%）増加の78億5百万円となりましたが、これは小売店舗数の増加、ナビゲーションの売上減を主とした粗利構成の変化、2りんかんの好調な推移等によるものです。

販売費及び一般管理費は、小売店舗数は増加したものの、株式会社ドライバーズスタンドと株式会社モンテカルロの本部体制見直しの効果等により、前年同期比77百万円（1.1%）減少の66億81百万円となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比3億22百万円（40.3%）増加の11億23百万円、経常利益は前年同期比2億28百万円（19.0%）増加の14億35百万円、四半期純利益につきましては、前年同期比20億29百万円減少（前年においては負ののれん発生益20億27百万円を計上）の10億28百万円となりました。

売上高の主な部門別内訳につきましては、卸売部門は前年同期比18億27百万円（12.1%）減少の133億円、小売部門は前年同期比52百万円（0.5%）減少の112億52百万円となりました。

②当期のセグメント別概況

当第1四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント別の概要は次のとおりであります。

＜カー用品等販売事業＞

当第1四半期連結累計期間におけるイエローハット店舗の出退店の状況につきましては、国内では平成25年5月にトレッド鴻巣店（埼玉県）、6月に呉宝町店（広島県）の2店舗を開店いたしました。

出店店舗につきましては、共に居抜き物件による出店となっております。

イエローハット店舗以外では、平成25年6月にライダーズスタンド熊本2りんかん（熊本県）の1店舗を開店いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内がイエローハット562店舗、モンテカルロ12店舗、2りんかん39店舗、海外がイエローハット15店舗の合計628店舗となりました。

当第1四半期連結累計期間のカー用品等販売事業の売上高は、前年同期比18億86百万円（7.1%）減少の247億12百万円、セグメント利益につきましては、前年同期比2億93百万円（50.4%）増加の8億77百万円となりました。

＜賃貸不動産事業＞

当第1四半期連結累計期間の賃貸不動産事業の売上高は、前年同期比29百万円（1.7%）減少の17億17百万円となりました。一方セグメント利益につきましては、転貸物件の収益改善が進んだこと等により、前年同期比29百万円（13.3%）増加の2億46百万円となりました。

①資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、323億61百万円（前連結会計年度末409億72百万円）となり、86億11百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が57億63百万円、その他（未収入金など）が28億63百万円減少したことによります。

また、固定資産の残高は16百万円減少し、411億33百万円（前連結会計年度末411億50百万円）となりました。

この結果、総資産残高は734億94百万円（前連結会計年度末821億22百万円）となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、169億1百万円（前連結会計年度末257億90百万円）となり、88億88百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が32億75百万円、支払手形及び買掛金が29億22百万円、未払法人税等が17億64百万円減少したことによります。

また、固定負債の残高は89億94百万円（前連結会計年度末93億82百万円）となり、3億87百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が4億99百万円減少したことによります。

この結果、負債残高は258億95百万円（前連結会計年度末351億72百万円）となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、475億99百万円（前連結会計年度末469億50百万円）となり、6億48百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益10億28百万円を計上した一方で、配当金を4億8百万円支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月10日の決算短信で発表いたしました、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、株式会社アップルの全株式を取得したことにより連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,381	1,618
受取手形及び売掛金	11,540	9,665
有価証券	—	1,499
たな卸資産	12,117	12,398
その他	10,401	7,537
貸倒引当金	△469	△358
流動資産合計	40,972	32,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,236	28,417
減価償却累計額	△16,266	△16,500
建物及び構築物（純額）	11,970	11,916
土地	13,747	13,747
その他	4,603	4,649
減価償却累計額	△2,892	△2,985
その他（純額）	1,711	1,663
有形固定資産合計	27,428	27,327
無形固定資産		
ソフトウェア	140	134
その他	166	150
無形固定資産合計	306	285
投資その他の資産		
投資有価証券	1,463	1,499
敷金	9,568	9,544
その他	2,785	2,916
貸倒引当金	△402	△439
投資その他の資産合計	13,414	13,521
固定資産合計	41,150	41,133
資産合計	82,122	73,494

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,649	7,727
短期借入金	5,174	1,899
1年内償還予定の社債	1,200	1,200
未払法人税等	2,176	411
賞与引当金	665	913
ポイント引当金	380	413
その他	5,544	4,335
流動負債合計	25,790	16,901
固定負債		
社債	1,400	1,400
長期借入金	1,401	901
退職給付引当金	981	975
リース債務	1,227	1,309
資産除去債務	1,312	1,346
その他	3,059	3,061
固定負債合計	9,382	8,994
負債合計	35,172	25,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	10,006	10,006
利益剰余金	26,438	27,059
自己株式	△2,581	△2,607
株主資本合計	48,937	49,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	299	320
土地再評価差額金	△2,309	△2,309
為替換算調整勘定	23	35
その他の包括利益累計額合計	△1,986	△1,953
新株予約権	—	22
純資産合計	46,950	47,599
負債純資産合計	82,122	73,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	28,346	26,430
売上原価	20,786	18,624
売上総利益	7,560	7,805
販売費及び一般管理費	6,759	6,681
営業利益	800	1,123
営業外収益		
受取利息	45	36
受取手数料	51	88
持分法による投資利益	—	15
貸倒引当金戻入額	176	73
その他	213	140
営業外収益合計	486	355
営業外費用		
支払利息	41	35
持分法による投資損失	3	—
その他	35	7
営業外費用合計	80	43
経常利益	1,206	1,435
特別利益		
固定資産売却益	173	—
負ののれん発生益	2,027	109
その他	1	0
特別利益合計	2,202	109
特別損失		
固定資産除却損	26	0
その他	1	—
特別損失合計	28	0
税金等調整前四半期純利益	3,381	1,544
法人税、住民税及び事業税	545	414
法人税等調整額	△222	101
法人税等合計	323	516
少数株主損益調整前四半期純利益	3,057	1,028
四半期純利益	3,057	1,028

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,057	1,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	22
為替換算調整勘定	10	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△66	32
四半期包括利益	2,991	1,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,991	1,061
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株)イエローハット(9882) 平成26年3月期 第1四半期決算短信

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品等販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,599	1,747	28,346	—	28,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	26,599	1,747	28,346	—	28,346
セグメント利益	583	217	800	—	800

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「カー用品等販売事業」セグメントにおいて、平成24年4月1日付で株式会社ドライバースタンドの全株式を取得し子会社化したことにより、負ののれん2,027百万円が発生しました。当該負ののれんは、当第1四半期連結会計期間において、負ののれん発生益として特別利益に計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品等販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,712	1,717	26,430	—	26,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,712	1,717	26,430	—	26,430
セグメント利益	877	246	1,123	—	1,123

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「カー用品等販売事業」セグメントにおいて、平成25年4月1日付で株式会社アップルの全株式を取得し子会社化したことにより、負ののれん109百万円が発生しました。当該負ののれんは、当第1四半期連結会計期間において、負ののれん発生益として特別利益に計上しております。